

第20回 火災防護検討会 議事録

1. 日時 平成21年8月6日(木) 13:30~15:00
2. 場所 (社)日本電気協会 4階 B会議室
3. 出席者(敬称略,五十音順)
出席委員:奈良間主査(中部電力),牛島副主査(関西電力),遠藤(東北電力),大江(四国電力),
大木(東芝),岡(九州電力),加賀谷(日立 GE ニュークリア・エネルギー),角谷(三
菱重工業),曾根(電源開発),多田(原子力安全基盤機構),田中(日本原子力技術協
会),菱川(東京電力) (12名)
代理委員:田中(中国電力・川越委員代理),米野(日本原電・長橋委員代理),辰尾(北陸電力・
西田委員代理) (3名)
欠席委員:名畑(北海道電力)
常時参加者:伊藤(中部電力),丸山(東京電力),森田(東芝プラントシステム) (3名)
オブザーバ:内藤(中部電力) (1名)
事務局:田村(日本電気協会) (1名)
4. 配布資料
資料No.20-1 第19回 火災防護検討会議事録(案)
資料No.20-2-1 JEAC4626(原子力発電所の火災防護規程)原子力規格委員会書面投票意見回答集約表
- 1(反対)
JEAC4626(原子力発電所の火災防護規程)原子力規格委員会書面投票意見回答集約表
- 2(保留)
JEAC4626(原子力発電所の火災防護規程)原子力規格委員会書面投票意見回答集約表
- 3(賛成その他)
資料No.20-2-2 JEAG4607(原子力発電所の火災防護指針)原子力規格委員会書面投票意見回答集約表
- 1(反対)
JEAG4607(原子力発電所の火災防護指針)原子力規格委員会書面投票意見回答集約表
- 2(保留)
JEAG4607(原子力発電所の火災防護指針)原子力規格委員会書面投票意見回答集約表
- 3(賛成その他)
資料No.20-3 JEAG4607「原子力発電所の火災防護指針」新旧比較表
資料No.20-4-1 JEAC4626「原子力発電所の火災防護規程」(制定案)
資料No.20-4-2 JEAG4607「原子力発電所の火災防護指針」(改定案)

参考資料-1 原子力規格委員会 安全設計分科会 火災防護検討会委員名簿
参考資料-2 JEAC4626「原子力発電所の火災防護規程」制定案に関する書面投票の結果について
JEAG4607「原子力発電所の火災防護指針」改定案に関する書面投票の結果について

5. 議事

(1) 出席者の報告及び委員変更について

事務局より、代理委員及びオブザーバの報告があり、奈良間主査により承認された。

(2) 前回議事録確認

事務局より、資料No.20-1に基づき、第19回 火災防護検討会 議事録（案）の説明があり承認された。

(3) JEAC4624「原子力発電所の火災防護規程」制定案、JEAG4607「原子力発電所の火災防護指針」改定案に関する規格委員会書面投票対応案について

奈良間主査より、資料No.20-2-1、2-2に基づき、JEAC4626制定案及びJEAG4607改定案に関する規格委員会書面投票(2次投票)対応案について説明があった。また、その他の誤記について資料No.20-3に基づき説明があった。審議の結果、本対応案のとおり次回の安全設計分科会(8/18)に上程することとなった。

主査からの補足説明は以下のとおり。

- ・規格委員会では、「JEACとJEAGに分けることが適切か」との意見があったが、JEAC4209「保守管理規程」/JEAG4210「保守管理指針」等の例が他にもあるということで、タスクで長期的に検討すべき課題となった。検討会としては、今後、タスクの検討結果を踏まえて反映すべきことは反映したいと考えている。書面投票でも同様な意見が出されており、資料No.20-2-1、2-2のハッチングの部分が該当している。
- ・規格委員会書面投票で反対票を投じた西脇先生への説明を実施した。定量的な性能規定化を示すことは難しいことをご理解して頂き、また、内容的には良いが、目的等しっかり整理すべきとのご意見を頂いた。タスクの結果を踏まえて検討したいことを説明し了解を頂いている。
- ・本規格を早く世の中に提示し、国のWGの反映、タスクの検討等を踏まえて、これからも改定を進めていきたいと考えている。

主な意見は以下のとおり。

- ・タスクでJEAC/JEAGを検討することだが、前後関係を確認したい。タスクの結果をまたずに規格を発行するのか。
6/23の規格委員会では、長期的な課題とするとの関村委員長の判断があった。資料の回答では分かりにくいので、「タスクで長期的な課題として検討することとなった」と修正する。
- ・タスクとは何か。
規格委員会の下部に組織され、各分科会にまたがる課題や規約の改定等を検討している。規格委員会3役の他、各分科会の幹事が委員として参加している。
- ・タスクで検討することの回答について、検討はタスクに任せることだけでなく、本規格については、JEAC/JEAGの2本立てとして整理したことも回答に加えた方が良いと思う。
回答を、これまでの説明内容を加えて修正する。
- ・今後のスケジュールはどうなっているか。また著作権の許諾についての手続きはどうするのか。
今後のスケジュールは、8/18の安全設計分科会、9/15の原子力規格委員会で書面投票対応案を審議して頂いた後、2か月間の公衆審査を実施する。公衆審査で意見を頂いた場合、11月頃予定の次々会の分科会、12月の規格委員会で意見対応案を承認して頂き、成案となる。
また、著作権の許諾については、公衆審査、発刊準備の段階で、事務局が実施する。

6. その他

- (1) 次回の検討会は、別途調整することとした。

以 上